

## 令和3年度第3回千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会議事録

### 1 日時：

令和3年10月13日（水） 14時00分～15時18分

### 2 場所：

千葉市教育委員会事務局 教育委員会室  
（千葉市中央区問屋町1-35 千葉ポートサイドタワー12階）

### 3 出席者：

#### （1）委員

近藤葉子委員（会長）、宮野モモ子委員（副会長）、栗屋仁美委員、伊藤孝明委員、  
中野智輔委員

#### （2）事務局

ア 教育総務部

香取部長

イ 生涯学習部

佐々木部長

ウ 総務課

山口課長、志賀課長補佐、猪飼主査、松元主任主事

エ 生涯学習振興課

小倉課長、石田統括管理主事、土肥課長補佐、積田主査、佐宗管理主事

### 4 議題：

（1）千葉市科学館の指定管理予定候補者の選定について

### 5 議事の概要：

（1）千葉市科学館の指定管理予定候補者の選定について

申請者について、事務局による形式的要件審査の結果、応募資格の各要件を満たしており、失格事由に該当しないことを報告した。また、提案内容審査のうち、客観的評価が可能な5項目について、事務局案のとおりとする事を確認した。

その後、申請者へのヒアリング、各委員による意見交換を実施し、委員による採点を経て、指定管理予定候補者とすべき者を「コングレ・東急コミュニティー共同事業体」として選定することを決定した。

また、答申について、審議の内容を基に事務局が答申案をまとめ、各委員の意見を聴取した上で、会長の承認を経て本委員会の答申とすることとした。

### 6 会議経過：

○司会 定刻となりましたので、ただいまより、令和3年度第3回千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会を始めさせていただきます。

本日司会を務めます、教育委員会総務課課長補佐の志賀と申します。よろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましてはご多忙の中ご参集くださり、ありがとうございました。

本日は全委員にご出席いただいておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

また、第2回の会議におきまして、今日の会議は非公開とすることをご了承いただきましたので、会議は非公開とさせていただきますことをご報告いたします。

それでは、議事進行につきましては、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第9条第3項の規定により、会長が会務を総理することになっておりますので、近藤会長、よろしくお願いいたします。

○近藤会長　それでは、議事に入ります前に、本日のこの後の流れについて事務局から説明をお願いいたします。

○山口総務課長　総務課の山口でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の選定に係る審議の流れにつきましてご説明いたします。

まず初めに、所管部長より、申請資格要件の審査である形式的要件審査の結果などの事項についてご説明いたします。

次に、団体の経営及び財務状況につきまして、伊藤委員に計算書類等に基づきご説明をお願いしたいと存じます。

その後、質疑応答の時間を設けた後に応募者に入室していただきましてヒアリングを実施いたします。今回の応募者はコングレ・東急コミュニティー共同事業体の1者となっております。

最初に応募者より、出席者の紹介を含め、提出した提案書につきまして10分以内で説明をしていただきます。その後に質疑応答を20分以内で行うことを予定しております。応募者への質問がございます場合にはこの時間にご発言をお願いいたします。質問が終了しましたら応募者には退出をしていただきます。ヒアリング時間は全体で30分を超えないこととしております。時間が終了時間近くなりましたら事務局からお知らせいたしますので、質問を終了していただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆様にはこのヒアリングの後に、既にご評価いただいているところではございますが、全ての項目について再度評価の確認等を行っていただきます。

なお、採点の結果で過半数の委員がDの評価をした項目がある場合、または1人以上の委員の方がEの評価をした項目がある場合につきましては、応募者を失格とするかどうかについてもご協議いただくこととなります。

また、全ての委員がEの評価をした項目がある場合には応募者を直ちに失格といたします。

私からの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○近藤会長　それでは、審議を進行して参ります。

議題（1）千葉市科学館の指定管理予定候補者の選定について、事務局から説明をお願いいたします。

○佐々木生涯学習部長 生涯学習部長の佐々木でございます。

委員の皆様におかれましては大変お忙しい中、また短い時間の中の確認が必要な事前審査にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまより、「形式的要件審査」について、及び「提案内容審査」のうち客観的な評価が可能な項目の採点についてご説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、座って説明させていただきます。

資料でございますが、資料1と資料2をご覧ください。

初めに、形式的要件審査についてですが、募集要項に定める応募資格の各要件を満たしているか、応募者から提出されました書類により審査をするものでございます。

資料1「千葉市科学館 指定管理者指定申請形式的要件審査（第1次審査）結果」をご覧ください。

10項目につきまして形式的要件審査を行ったところ、(株)コングレ、(株)東急コミュニティー、2社ともに要件を満たしており、失格事由に該当しないことを確認いたしました。

なお、項目10の「当該団体又はその役員が千葉市暴力団排除条例第2条第1号に規定する暴力団、同条第3号に規定する暴力団員等又は第9条第1項に規定する暴力団密接関係者でないこと」は形式的要件審査の後、警察への照会を行いまして、該当していないことを確認してございます。

続きまして、客観的な評価が可能な項目の採点についてですが、資料2「千葉市科学館指定管理予定候補者選定採点結果集計表（第2次審査用）」をご覧ください。

記載にありますとおり、「2 施設の管理を安定して行う能力を有すること」の「(1) 同種の施設の管理実績」、「5 施設の維持管理に要する経費を縮減するものであること」の「(2) 管理経費（指定管理料）」、「6 その他市長（教育委員会）が定める基準」の「(1) 市内産業の振興」、「(3) 市内雇用への配慮」、「(4) 障害者雇用の確保」の5項目につきましては事務局で点数を記載しております。

まず「2 施設の管理を安定して行う能力を有すること」の「(1) 同種の施設の管理実績」につきましては、提案書に記載されました公の施設、科学館、プラネタリウムを有する施設、それ以外の博物館の5年以上の実績につきまして共同事業体の責任割合を乗じて計算し、点数をつけています。

続きまして、「5 施設の維持管理に要する経費を縮減するものであること」の「(2) 管理経費（指定管理料）」につきましては、提案書に記載された5年間の指定管理委託料の金額が千葉市科学館指定管理者募集要項に提示いたしました指定管理料の基準額である20億7,100万円を超えないことが確認されました。その結果から、千葉市科学館指定管理予定候補者選定基準の計算式により計算し点数をつけております。

続きまして、「6 その他市長（教育委員会）が定める基準」の「(1) 市内産業の振興」につきましては、応募者が市内業者、準市内業者、市外業者であるか

について千葉市入札参加資格者名簿で確認を行い、共同事業体の責任割合を乗じて計算し、点数をつけております。

続きまして、「(3) 市内雇用への配慮」につきましては、提案書に記載された施設従事者に占める市内に住所を有する者の割合により、点数をつけております。

続きまして、「(4) 障害者雇用の確保」につきましては、法定雇用率の達成状況及び本施設において新たな障害者を雇用するかどうかの2点について点数をつけております。

なお、法定雇用率の達成状況につきましては、共同事業体の雇用者数の比で案分して計算しております。

また、事前審査と併せてお願いしておりました各委員等と応募団体との利害関係及び接触の有無につきましては、「該当あり」として連絡のあった委員はいなかったことをご報告いたします。

説明は以上でございます。

- 近藤会長　それでは、まず、選定基準における形式的要件審査についてですが、事務局で確認したところ、失格する事由がない旨説明がありましたが、この点について、何かご質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 近藤会長　では、ないということなので、続きまして、客観的評価が可能な5項目の採点根拠に関する事務局からの説明について何かご質問、ご意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 近藤会長　それでは、本委員会として、これらの項目について事務局案のとおりで問題はないとしたいと思います。いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 近藤会長　それでは、本委員会として、「2 施設の管理を安定して行う能力を有すること」の「(1) 同種の施設の管理実績」、「5 施設の維持管理に要する経費を縮減するものであること」の「(2) 管理経費(指定管理料)」、「6 その他市長(教育委員会)が定める基準」の「(1) 市内産業の振興」、「(3) 市内雇用への配慮」、「(4) 障害者雇用の確保」の5項目について、事務局案のとおりで問題ないことと決定いたします。

それでは、続きまして、評価について審議に入る前に、先ほどの事務局からの説明について、ほかに何かご質問等ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 近藤会長　次に、団体の経営及び財務状況について、ご意見をお伺いしたいと思いますので、伊藤委員、ご説明をお願いいたします。

- 伊藤委員　私から財務内容等についての意見を申し上げます。

これまでの委員会でも(株)コングレ、(株)東急コミュニティーの決算書の内容につきましては、確認して参りました。その結論としてはこれまでのお話と変わったことはありませんので、基本的に財務内容については重要な問題はないと考えております。

少し付け加えさせていただきますと、ご提出いただいた資料を見た中で、何点か気づいた点がございますので、一応申し上げたいと思います。

まず、(株)コングレの監査の結果につきまして、(株)コングレの第30回及び第31回の定時株主総会の議事録を拝見しますと、第29期にはありました監査役からの監査結果報告が議事録に記載されておりませんので、少し気になりました。その点は市にも確認をお願いしたいとお伝えしましたところ、実際には監査役の方が監査報告をされていたようなのですが、議事録ではその記載が漏れていたと説明をいただいております。そのような記載上の不備はございますが、基本的に監査の結果もしっかり報告されている。そういう決算書であると理解いたしました。

それと、もう2点ほどあるのですが、コングレの決算書につきましては、損益計算書を見ますと、営業収益から営業費用を差し引いた金額を営業利益と表記しておりますが、会社計算規則のルールでは、売上高から売上原価を差し引いて売上総利益というものを表記しまして、そこからさらに販売費及び一般管理費を差し引いて営業利益を表記することになっております。現在のこの表記の仕方は売上原価と販売費及び一般管理費を両方混ぜて、合算して営業費用としている表記になっております。

この点にこだわるのはなぜかという、添付されている附属明細書には販売費及び一般管理費の明細というものが開示されております。こちらが先ほど申し上げたように売上原価と販売費及び一般管理費というように分けていけば、この附属明細書の数字と損益計算書の販売費及び一般管理費が整合しているということが確認できるのですが、現状はそのような表記になっていないことから、こちらが整合しているかという確認が出来ません。

実際に、販売費及び一般管理費の金額は間違いはないということですので、来期以降は、決算書を作る際にはそのような会社計算規則に合った表記をしていただきたいと思っております。財務内容等について何か問題があったという話とは直接は結びつきませんが、より規則に則った表記をしたほうがよろしいということを申し上げます。

そして、最後ですけれども、(株)東急コミュニティーにつきましては、提出は求めているのですが、キャッシュフロー計算書がついております。こちらの計算資料は必須の提出資料ではないのですが、内容を確認したところ過去3期分になりますが、「現金及び預金勘定」という項目がございます。このキャッシュフロー計算書に記載された現金及び預金勘定と、貸借対照表の現金及び預金という金額が本来であれば一致するはずですが、少額ですが差異がございました。そちらの内容についても確認していただいたのですが、大きな問題ではないのですが、原則はキャッシュフロー計算書と貸借対照表のいずれも数字が一致するはずで、調整する項目としてみなし現預金というものがあるとご回答いただいておりますが、それは調整する前の貸借対照表と同じ数字にするのが基本かと思っております。そこを既に調整されたような形で、見た目で見ますと、両方の数字が少しずれているということが確認されました。

これも大きな問題ではございませんが、少し気になりましたので一応ご報告だけさせていただきます。

総体で見ますと、基本的に2社の財務内容については特段問題ないだろうと、今後1年間事業を継続できる内容であろうと判断しております。

私からは以上でございます。

- 近藤会長　　ただ今の伊藤委員のお話について、ほかの委員から何か質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 近藤会長　　それでは、コングレ・東急コミュニティー共同事業体のヒアリングを行いますので、入室をお願いいたします。

＜申請者　入室＞

- 近藤会長　　それでは、これからヒアリングを行います。

10分間で本日の出席者のご紹介と提案内容を簡潔にご説明をお願いいたします。

説明が終わりましたら、こちらから質問させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、ご説明をお願いします。

- コングレ・東急コミュニティー共同事業体　　千葉市科学館現管理者のコングレ・東急コミュニティー共同事業体です。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

本日の出席者です。私、(株)コングレの●●●●と申します。隣が●●●●でございます。一人飛ばして●●●●、●●●●でございます。あと、中央が(株)東急コミュニティーの●●●●でございます。

では、当グループの提案についてご説明いたします。

私ども、コングレ・東急コミュニティー共同事業体は5年前に千葉市科学館の指定管理者にご指名いただき、本日まで管理運営して参りました。運営に当たっては、千葉市科学都市戦略の理念や千葉市科学館の設置目的であるところの全ての世代の市民にとって科学を身近なものにし、科学知識の普及によって市民文化を発展させるという目標に向かって様々な活動を行って参りました。

具体的には後ほど述べますが、達成できたこと、まだ道半ばのもの、そして世情の変化に伴い見直すべき課題などがございます。ぜひ私どもで継続してこの課題に取り組みたく、今回も応募させていただきました。

まず、構成企業の実績を紹介します。

代表団体のコングレは千葉市科学館以外に横浜、神戸、新潟、山梨といずれも県庁所在地に位置する同種の科学館を4館運営しており、1期目の山梨を除いてはいずれも複数回指定管理者として選定いただいております。

また、プラネタリウムを担当する東急コミュニティーは都内や首都圏を中心に11か所のプラネタリウムを長期にわたって運営しています。両社とも同種の施設運営としては民間企業随一の経験と実績があると自負しています。

さて、まず当グループが指定管理者になってからの期間を簡単に総括します。

提案書27ページに入館者数の推移を記載しました。指定管理1年目にすぐ過去

最高の入館者数を記録し、2年目の平成30年度には当初計画を上回る48万4,000人と入館者数の記録を更新いたしております。前回私どもがこの場でお約束し、実行したのが館内を活性化するために、イベント、講座、ワークショップなどの回数を大幅に増やすことでした。いつ来館しても常に何か行われているという状態をつくることで、利用者の期待感が高まり、また科学館に行ってみようと思っていただける方が増えました。これこそが科学や科学館を身近に感じられる第一歩だと考えます。

提案書14ページに展示物の保守について記載いたしました。

せっかく来館しても展示の故障が多いと、お客様を残念な気持ちにさせてしまいます。当グループの特徴とも言えるのがこの展示メンテナンスで、専門スタッフが常駐して、故障を未然に防ぐ、もし故障してもすぐに修理する体制を取り、休止展示をなくしたことも展示場の活性化に貢献しました。

ですが、3年目の令和元年度後半からは環境が一変してしまいました。秋には大きな台風が襲来し、そして冬からは新型コロナウイルス感染症が流行し始め、臨時休館を余儀なくされました。3か月休館した後の再開館に当たっては、開館することのリスクが何なのか、感染症対策としてどんなことを行えばよいのか、そして館に来られない利用者に科学知識を普及するにはどんな方法があるのか、手探りで考え始めました。教育委員会の方々や指定管理者の本社、あるいは他館のメンバーに相談したり、スタッフの意見を取り入れたりしながら、千葉県科学館なりの感染症対策を作り上げ、少しずつ変更を加えながら今日まで運営してきました。おかげさまで、スタッフからも利用者からも感染者が出ることなく、以降休館せずに今日に至っています。

では、今後の計画に移ります。

提案書31ページから事業担当がご説明いたします。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体      よろしくお願いたします。

31ページをご覧いただいているかと思いますが、実施予定の事業の主なポイントは4つです。デジタルコンテンツの充実、展示リニューアルとその後の対応、講座等の質の向上、そしてプラネタリウムの運営です。

ページの中ほどに「たかめる」というキーワードがございます。事業全般を通して、今から申し上げますポイントというのは、この「たかめる」に繋がっているものになります。

1つ目のデジタルコンテンツの充実に関して、32ページがございますARを用いた展示の拡充を例にご説明申し上げます。

これは、既に館内で導入しておりますが、来館者をご自身のスマホでアプリを使ってARのマーカーを見るとコンテンツが表示されるものですが、リニューアル後の新展示に関するものも大幅に増やしまして、いわゆる普通の展示体験に加えて、ARによる展示体験の質を高めます。

その下に続いていますが、ものづくりライブラリーの運用案にありますとおり、科学的な内容を扱う動画のコンテンツも大幅に増やします。

続いて、2つ目のポイントである展示リニューアルとその後の対応です。

これは、33ページ以降に記載がございますけれども、これまで現業の指定管理者として要所要所でご相談させていただきまして、意見を述べる機会をいただいて、ある程度関わってきました。その新展示に関するところで、ワークショップだったりとか、ミニトーク、そういったものを展示の中で数多く実施することで、当然新しい展示というのはまだなじみがないので、来館者はこのワークショップだったり、ミニトークで展示を深掘りすることができて、理解促進と満足の向上につながると考えています。

そして、3つ目の講座などの質の向上です。これは36ページ以降に記載させていただいています。

先ほど申しあげましたとおり、この当グループの指定管理期間中に講座の開催規模を大幅に増やして、多くの方々に科学に触れる機会を提供いたしましたけれども、これからはこの講座の開催規模は維持しつつ質を高めることに注力いたします。具体的には、より深く、濃く、あるいは高度な内容を求める利用者に向けて中級や上級といった内容の講座を増やします。また、オンラインのノウハウに関してコロナ禍でいろいろ培いましたけれども、それらを活用してこれまで以上に頻度を上げて定期的にオンラインイベント、オンライン講座といったものを実施して、例えば小さいお子様がいたり、遠方にお住まいだったりして来館が難しい方々への科学の入り口を提供します。

4つ目、最後、プラネタリウムになります。これは39ページ以降に記載しております。

この指定管理期間中にプラネタリウムの投影回数も大幅に増やしております。コロナ前の実績になりますが、年間2,600回という投影回数は科学館の中に位置するプラネタリウムとしては日本一のものになります。幅広い年代層の観覧者に向けて番組もバラエティーに富んだ構成とした結果、観覧者も大幅に増やしております。特に近年ではもともと科学館に縁遠いと言われているような高校生から20代ぐらいの方々の来館、観覧もすごく増えています。

一方で、14年間ハイペースで機械を使っていますので、今後はより一層その維持管理が重要になってくると考えています。これについては、教育委員会とこれまで情報共有させていただきながら長期保全の対応をして参りました。これからも投影中止で皆様に迷惑をかけないように、メンテナンスにも気を配りながらこれまでどおり、投影を続けていきます。

今申しあげた4つ以外にもオンライン予約、無料Wi-Fiの整備といった来館者サービスの向上も含めて、講座、イベントコンテンツだけではなく、館の隅々まで質の向上を図って、科学館を利用される全ての方々の体験の質が向上することをを行います。

私からの説明は以上です。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体 では、最後に提案書46ページ、入館者数目標についてご説明を申し上げます。

今後5年間の計画を立てるときに、避けて通れないのがコロナ禍の影響をどう見るかという点になりますけれども、ここでは事前の質疑でいただきました、その



影響を加味しないという回答に沿って作成いたしました。ただし、来年度に関しては仮に施設の利用制限がなくなっても、科学館から離れてしまった利用者が戻ってくるまでには少し時間がかかるだろうということと、展示リニューアル工事で一時的に休止展示や閉鎖エリアが増えてしまう影響も加味しまして、35万人程度の来館者を想定しています。

再来年度以降については、利用者のマインドもほぼコロナ前に戻り、リニューアルとの相乗効果で利用者が戻ってくることを想定して45万人、そして5年間のうちに過去最高記録を更新することを目標といたします。

以上が、当グループの提案の主なポイントになります。

引き続き千葉市科学館の活性化を通じまして、利用者の科学知識の普及に努める所存でございます。ぜひ継続してのご指定を改めてお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

○近藤会長　それでは、こちらから質問をさせていただきたいと思えます。

○宮野委員　今ほどは非常に分かりやすい丁度10分間のお話をありがとうございました。どこを大切にするか、そしてどのように行っていく所存かということがよく伝わってきたように思いました。

私どもから、今度は項目に従いまして確認というか、質問をお願いいたしたいと思えます。

この提案書の中のまず25ページをお願いいたします。

テクノロジーの活用により利便性を高めるというのは、よく分かります。テクノロジーの利便性ということになると、高齢者はどうするのか、ということになりますが、オンライン予約申し込みのところで、予約の負担が軽減されることが安易なキャンセルを生む側面もあると、ご心配も書かれておりますが、高齢者に対してのこのテクノロジーの活用により、利便性というものをどのようにお考えでいらっしゃいますか。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体　現在、特に予約につきましては、ほとんどはがきや電話でのご予約を中心にさせていただいておりますけれども、やはり特に若いお客様からを中心に、今どきこういうのはウェブでやるべきでしょう、オンラインでやるべきでしょうという声もたくさんいただいております。実際これは高齢者の方からもそういうご意見が最近実は届くようになってきているのです。

ですので、我々としても徐々に徐々にそこは取り入れていくべきかと思っております。

ただし、今までは電話とはがきだけだったものを、今度は一気にオンラインだけとなりますと、ご指摘のように、高齢者の方々、あるいはネットにあまり詳しくない方がお困りになりますので、そこは様子を見ながら、しばらくの間は両方並行してネットでもはがきでも電話でも受けるような、そういうようなことをしながら、少しずつ浸透具合を見ながら、ただし方向性としてはやはりオンライン中心に、せつかく科学館ですので、そういうところは積極的に取り入れていきたいと思っておりますので、そういうような方向で、状況を見ながらといいますか、利用者との対話を繰り返しながら、移行していきたいと考えております。

○宮野委員　そうですね。ぜひ丁寧にやっていただけるといいのかと思います。

続きまして、27ページですけれども、新たな情報発信と館内演出と書いてあります。単に私は1人の来館者として見ますと、今とても良くなっているのかもしれませんが、10年ぐらい前ですので、きぼーるから上がって行って、エレベーターが開きまして、すぐ受付がごさいますよね。何となく暗い感じがするのですが、お話ロボットみたいなのが1台ありまして、館内のそこで立ち止まることができたりして楽しいなと思うのですが、私はその入り口をもっともっと、「ここは科学館だぞ」というインパクトを与えたいと思うのですが、その辺りというのは出来るのでしょうか。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体　まさに、この27ページの一番下に書いてあることがそれそのものです。委員から科学館に来たときに、何となく暗いというか、堅苦しいというか、きぼーるというビル自体が複合施設でございまして、なかなか我々独自の装飾とかというのが非常に難しいのです。

ですので、今はプロジェクションマッピングという手法がございまして、来館された時に、違う場所に来た感覚を持ってもらえるような映像になる予定です。

○宮野委員　そうですか、楽しみにしていきたいと思います。少し触っただけで音が出るとか、何かそういうインパクトが少し欲しいかなと、いろいろな条件がございましてけれども、よろしく願いいたします。

次に、28ページに関連して、外部と連携して地域の活性化に貢献と記載していただいているのですけれども、外部への広報力というのでしょうか。

ここでは色々と千葉市美術館との相互的な乗り入れといったことが記載してあるのですけれども、もっと広報力を働かせていいのではないかと、教育委員会がやっていらっしゃるものではありませんけれども、でも、教育委員会がやっていて、コングレ・東急コミュニティー共同事業体がやっているというようなことを外部に発信したい。きぼーるの中のインパクトのことをさっき申しましたけれども、外への、いろいろと工夫はされているようなのですが、後のほうでも記載していらっしゃるのですけれども、何かありませんでしょうか。市役所にアピールするとか、市役所といえどもいろいろな方がいらっしゃるでしょうから。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体　今のご質問ですけれども広報戦略全般と捉えさせていただきますと、まず我々がやりましたことは、これは本当に原始的な手法ですけれども、特に企画展などのときに、学校へお配りするチラシを圧倒的に増やして、1人に1枚届くようにしたのです。今まではクラスに1枚といった枚数だったものを1人に1枚届くようにしました。それによりまして、お子様がそのチラシを家に持って帰って、科学館に行ってみようというようなことで、それもあって平成30年度に非常に多くのお客様がいらっしゃったと思うのです。ですので、そういうある種の人海戦術的な面はあるのですけれども、そこは継続して参ります。

あとは、もう時代ですので、我々ももう既に始めていますけれども、SNSですか、ホームページも特にスマートフォンを意識したページづくりにするなど、そういうようなことを中心に展開をしていくつもりでございまして。

○宮野委員 ぜひお願いしたいと思っています。

54ページとも関わると思うのですが、(株)東急コミュニティーも(株)コングレも千葉市内の企業ではなかったわけですが、社員の方の中には千葉市に在住の方もいらっしゃるということで非常にいいなと思うのですが、ぜひぜひそういう方をもっと利用して、私、モノレールに乗ってここへ来たのですけれども、モノレールの駅全部見ていくと、それぞれに何かないのか。何か今やっている事業者にアタックしていくということももちろん私はあると思うのですが、そうじゃないところでも何かやっていけそうみたいなところを探して、千葉市内でやれるのではないかなと思ったのです。

例えば、モノレール自体どうなのでしょう。いろいろなイラストが掲載されていますが、載せていただくためには、経費が高いのでしょうか。科学館の広告がずっと駅を回ってもいいのではないかと思ったのですが、いかがでしょうか。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体 今、最寄りの葭川公園駅には千葉市科学館のポスターを貼らせていただいております。経費はかなり掛かっていますが、実をいうと、ラッピングも一回検討したのです。動物公園はこれをしておりまして、さらに経費も掛かるのですが、我々もラッピングが出来ないかなと思ったのですけれども、かなり予約待ちといいますか、すぐには使えないというようなことで、あとは予算的にも難しいということで、千葉都市モノレール様とは今のことに関しては断念してしまいましたけれども、今ご指摘があったように、モノレール沿線の施設だとか、そういうところとモノレールを結ぶようなイベントというのは考えられるかなとは思いました。

○宮野委員 ぜひぜひ広げていただけたらなと思います。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体 実際に千葉都市モノレール様と協力する広告以外にも貸切りという形で案を提供されているので、まだアイデアベースですが、コロナで難しいのは承知ですが、スタッフの中では、一部貸し切ってその中で駅ごとにワークショップをやってお客様を呼んでみたいといったアイデアは出ています。今後そういった展開もいろいろできればと思っています。

○宮野委員 そうですね。いろいろな、かつてもどこかでやっていたかもしれませんが、そういうところに小学生でありますとか、そういう小さなお子様方をお母様と一緒にとかいうのもいいかもしれないです。ありがとうございます。

それが、しかも科学館の内容そのものであるというような、何かそういうインパクトのある広報というのがいいなと思っておりました。ありがとうございます。

もう一点質問ですが、ロボットは今何台あるのでしょうか。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体 冒頭で仰っていただいたコミュニケーションする白いロボットは機械の都合で今はないのですけれども、代わりに有名な犬のペットのロボットがスタンバイしていますので、コロナで運用がなかなか難しいところですが、ロボットそのものというのは同じく1台、今、準備はできているところです。

○宮野委員 館内でドローンなどは飛ばさないのですよね。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体 何回か飛ばしたことはあります。

科学館の中でも教室で飛ばしていますし、千葉市科学フェスタの中でも1階のガラス張りのところを特別に許可していただいて、あそこに業務用の免許が要る大きなドローンも飛ばしたことはあります。館でも子どもが簡単に操作できるドローンも持っていますので、ドローンを活用した教室の展開も今後考えています。

○宮野委員　そうですね、ぜひと思います。

私としてはこれで最後となりますが、館長は専門家でもいらっしゃいますが、館長が科学館の中で、来館された方とコミュニケーションする、あるいはそういった企画のようなものはございますのでしょうか。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体　お客様とコミュニケーションされているケースもあります。もともと地質が専門分野の方なので、まさに、このリニューアルでは石の部分に関して監修されておりますし、それに関連したイベントの計画もございますので、今後そういった展開も予定しています。

○宮野委員　私は、どこでも館長さんと会えるという科学館はいいのではないかと考えています。存在感が出てくるのではないかと考えております。ありがとうございます。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体　今の説明に補足しますと、大人が楽しむ科学教室という講座を年間40回、大学で学ぶようなところがあるのですが、大人の方をターゲットにしておりまして、それは基本的には全て井上館長が企画をし、講師の方を連れてきて、会場には必ず井上館長が同席しておりますので、そういう意味では非常によくフロアに出ていると思っています。

○宮野委員　ありがとうございます。私は、これからの世代を担う子どもと館長とが仲よくなってほしいと思っています。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体　分かりました。

○栗屋委員　まず、さっきの広報のことで私、実は御社のホームページを拝見したのですが、指定管理者で管理しているという施設が幾つか載っていたのですが、横浜市が上にあって、千葉市を探すと下に、いろいろな予算の関係で御社のご都合もあると思うのですが、もう少し上のほうにしていればと、千葉市を代表して申し上げたいと思います。

それから、35ページの中段下のところ、老朽化した機器を入れ替えて新しいシステムを検討するとあるのですが、何かもう既に考えられていらっしゃるものがあれば教えていただけますか。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体　具体的にまだ直接は動いていないのですが、今使っております機械がもう入ってからずっとそのままですので、例えば、それこそバッテリーが駄目だったりとかというのはあるので、そういったものの機器の入替えを前提に、併せてコンテンツを一部今どきのものであったりとか、当然展示もリニューアルが入りますので、それに合わせて内容も書き換えていくことを予定しています。

○栗屋委員　分かりました。

私、半年位前にこちらの科学館に参ったのですが、受付がすごくよくて、

受付の方の雰囲気、さすが企業の方が入られているなど、柔らかくて、洗練された感じだと思っておりました。プラネタリウムも楽しませていただいたのですが、有楽町駅の近辺にある施設は、少しお酒を飲みながら見られるという時、部屋かな、もあって、千葉市はもしかしたら難しいかもしれないのですが、大人が楽しめる科学館というので、そういった潤いのあるものも企画していただければうれしく思います。

- コングレ・東急コミュニティー共同事業体 検討させていただきます。
- 栗屋委員 私からは以上でございます。
- 伊藤委員 私も幾つかあるのですが、時間もないので、直接お聞きしたい項目だけに絞りますと、提案書の21ページ、よろしくお願ひします。

感染症拡大予防対策には2つの健康管理、小まめな消毒等が記載されております。22ページでは、感染症患者の対応には検温ゲートの設置、入場制限等の記載がございますが、3密を避けるための対策というものは特段こちらを見た限りで見つからなかったのですが、事業の性質を考えますと、多数の入館者が密集した環境に置かれるので、そちらについての具体的な方針等を記載していただいたほうがよろしいかなと私は思ったのですが、ここに記載していなくても何か対応など、実際、感染が起きていないということはそれなりのことをされたと思いますので、お聞きできればと思います。

- コングレ・東急コミュニティー共同事業体 一番基本的なことですけれども、やはり人数を絞り込む、当然密集を避けるためには、たくさんの方が来館されると密集が起こってしまいますので、例えばプラネタリウムの場合は、本来200人入るところを今100人で投影しております。

あるいは、普通の実験教室なども20人から30人のところを10人から15人とか、50%を目安に全てのイベント、あるいは常設展示場も各フロア人数を大体決めまして、これ以上入ったら、入り口でしばらくお待ちいただくとか、そういうようなことで密集を避けているところがございます。

- 伊藤委員 承知しました。ありがとうございます。
- 近藤会長 それに付随してご質問していいですか。

感染者の対応というところですが、このところでもし体温の高い方が来館された場合に、問診とか再検温とかありますけれども、これは専門にそういう方を置いていらっしゃるということですか。

- コングレ・東急コミュニティー共同事業体 いえ、そうではなくて、あくまでも先ほど22ページ、検温ゲートがございますけれども、ここで、実をいうと今までほとんど引っかけたことがないのですが、仮に体温の高い方がいたら、検温ゲートでアラートが鳴ってしまうのです。そうしたら、他のスペースでもう一回体温を測っていただいて、それでも高ければ、ご自身でご帰宅できそうであれば、ご帰宅いただくのが基本です。体調が優れず、ご自身でご帰宅いただくのも困難な場合は、休憩スペースでお休みいただいて、場合によっては、病院等をご紹介するというようなことはフローとしてつくっております。実際にそれをやったことはまだないのでございます。

- 近藤会長 ああの建物は複合施設なので、保健福祉センターが一部入っているのです。
- コングレ・東急コミュニティー共同事業体 13階以上ですね。
- 近藤会長 ですので、そちらと連携して、というのはお考えになったりしていますか。ここには、もしそういう方がいたら保健所にご連絡すると記載してあるのですが、保健所となると、少し距離もあるし、保健福祉センターであればすぐ上にあるので、そういうところとの連携というのはお考えにはなっていないのですか。
- コングレ・東急コミュニティー共同事業体 今ご指摘いただくまで気づきませんでした。基本的には保健所と我々も指導を受けていますので、もし何かあれば保健所にご連絡をさせていただくと思っておりました。13階の施設については、もう一回調べてみたいと思います。
- 近藤会長 もし体温の高い方が出た場合に、隔離した休憩スペースにご案内しますとここにあるのですけれども、あの場所でそういった隔離したスペースをつくるということは難しいのかなと思っていたので、もしそちらとの連携が取れるとすれば、そちらに隔離して休憩できるようなスペースをお願いするとか、そういったこともできるのではないかと思ったものですから。
- コングレ・東急コミュニティー共同事業体 かしこまりました。即答できないのですが、調べてみます。
- 近藤会長 よろしくお願ひします。
- 伊藤委員 もう一点だけ、提案書の51ページに、収入支出見積りの妥当性の資料がありまして、その中に、企画展入場料というのがありますが、金額的にはそれほど大きくないと思うのですけれども、令和4年度、5年度は1人当たりの入場料が過年度の平均値の195円で利用料金を計算しておりますが、令和6年度から8年度は1人当たり入場料を295円として計算しております。見応えのある企画展を製作してそれに見合う入場料を設定するという説明があるのですが、見応えのある具体的な企画展の例示とその実現可能性についてももう少し言及しないと、料金をいきなり100円アップするという前提、この妥当性についてはどうなのかなと思ったところです。
- もし具体的なものがあれば教えてください。
- コングレ・東急コミュニティー共同事業体 企画展のページを例にご説明申し上げます。
- 34ページです。
- スペースの都合で入れられないものもあるのですが、ここに幾つか企画展の例を掲載しております。まず、実際に過去には、鏡をテーマにした際は、ものすごく多くの方に来館していただいたのですが、これからの部分で、特に夏が一番集客を見込めますので、現状、未来の遊園地で、特にメディアアートだったりとか、プロジェクションマッピングに対応したものであったり、科学捜査展も過去、科学館の実績で多くの方に来館していただいておりますので、こういったものの中で、従来はある程度限られた予算の中で組み立てていたものですがけれども、これ

に対してもう少し予算を積んで、ものによっては少し内作で、こちらで用意するものも増やして限られたスペースの中でも料金に見合う体験の面白いものをご提供する予定であります。

- 伊藤委員 分かりました。私は以上です。
- 近藤会長 26ページですが、今既存でいらっしゃるメンバー会員、今までの5年間で増やしていくような取組みをいろいろしていただいたにもかかわらず、大幅な増加に繋がらなかったということなのですが、ここに関しての施策、それがこのところで特典として会員限定のツアーがあったりするのですが、具体的にはこのツアーはということをお考えになっていますか。
- コングレ・東急コミュニティー共同事業体 写真の中では千葉港の近くで海に関するものやっているものもありますが、現状予定して今検討しているものの中では、どうしてもコロナ禍でいろいろな工場見学だったりとか、いろいろな場所というの難しいケースもあるので、メンバー会員の場合は、そもそも信頼関係の上に個人情報含めて分かっていますので、もう感染のリスクも含めて大丈夫な方々といった形で、提携先がご理解いただけるようであれば、工事現場だったりとか、普段は見学を許可されていないような場所も含めて、メンバー会員になっていただくと、そういう特別な場所に科学館のスタッフの解説つきで引率してご覧いただけますよというイメージを予定しています。
- 近藤会長 それに関して、参加費はどうなりますか。
- コングレ・東急コミュニティー共同事業体 ものによります。遠方であると当然メンバー会費だけでは賄えない場合もあるので、過去にはそれでバス代を別に頂いていることもあります。
- 近藤会長 そのほかに関しては、工作室の開放というところですか、これは常時ですか。
- コングレ・東急コミュニティー共同事業体 この工作室自体はイベントでも使用していますので、開館して常に24時間開放というのができる場合とできない場合がありますが、当館の工作室に一般の方がおよそ普通は使えないもの、目にしないものも、特殊なものもありますので、レクチャーを受けた方々がスタッフの見守っている中で特別の工作ができるというのは、例えば平日の夕方とか、イベントをやっていない土日のいずれか、あともう一つは夏休みの期間中であれば、平日でもお子さんは来ていただけたらと思っていますので、自由研究などに少し特別な加工が必要であればぜひお使いください、というイメージでいます。
- 近藤会長 分かりました。これは、子ども向けとか大人向けとかというのを分けていますか。
- コングレ・東急コミュニティー共同事業体 メンバー会員様であれば、年齢に応じてできること、できないことというのは会員様の属性に応じて調整する必要があります、どうしても危ないものがありますので。あるいは保護者の方と一緒にあれば大丈夫ですよというご案内になると思います。
- 近藤会長 保護者同伴でということですね、分かりました。  
では、メンバーの増加に関してはそういった内容でいろいろ予定はしているとい

ことですね。分かりました。

今のところに関係してくるのですが、48ページに科学と未来の学校のワークショップとあるのですが、これに関しては、時には受講者の方から参加費を頂いて高額な材料を使って、とあるのですけれども、これは小学校の高学年に向けてということですが、これに関しては大体どのぐらいの金額を設定しているのですか。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体　ここに記載のとおり、講師の方々のやる内容に含めて、当然いろいろな幅があるのですけれども、数千円程度を想定しているところでは、2,000円から4,000円程度で、例えば本当に特殊な材料を使って特別な実験をやるときに、どうしてもそれを講師の方だけで負担し、受講者の方を無料にするというのは難しい場合もあるので、基本的には材料費相当の金額だけを頂く形になります。

○近藤会長　分かりました。そのほかご質問は大丈夫ですか。

〔発言する者なし〕

○近藤会長　では、ご質問がなくなりましたので、ヒアリングを終了にしたいと思います。

本日はお忙しい中、ありがとうございました。

退室をお願いいたします。

○コングレ・東急コミュニティー共同事業体　どうもありがとうございました。

<申請者 退室>

○近藤会長　それでは、続きまして、各委員から全体的な評価をお伺いしたいと思います。

各委員の方からお伺いした後で、保留のある項目などの審議にいきたいと思います。

では、全体的な評価についてお願いいたします。

○宮野委員　今、お話を伺わせていただいて、前向きに市のために頑張るというようなところを伺うことができましたので、競合するところはございませんけれども、また続けて頑張っていただければよいのではないかと思われました。

○粟屋委員　私も全く同じ意見でございます。非常に好印象を受けました。

以上です。

○伊藤委員　私も同じ意見でございます。

○中野委員　私もコングレ・東急コミュニティー共同事業体が指定管理者になってから、新型コロナの影響で昨年度は入館者数が減りましたが、それまでは順調に伸びていたというのは、今の指定管理者が企画とかいろいろご努力されて、工夫されている結果だと思いますので、今日の話聞いても非常に私も好印象を持ちましたので、次期もお任せしたいと考えています。

以上です。

○近藤会長　私も前回、コングレ・東急コミュニティー共同事業体を選定したときの印象というか、そのときもすごく前向きな形で、いろいろ提案をしていただいてというところの印象をまた今回も深めたところなので、全体的にいいのではないかと思います。



続いて、「保留」のあった項目について審議したいと思います。

[事前審査において「保留」とした項目について審議]

それでは、そのほかご意見等ございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○近藤会長　では、以上で審議は終了したいと思います。

それでは、ただいまの審議の結果を踏まえて、ご自身の評価に修正がある場合は赤鉛筆で選定採点結果集計表に修正していただきたいと思います。

これから修正のためにお時間取りますので、終わりましたら、挙手をお願いいたします。

[各委員による採点]

○近藤会長　それでは、ここで、集計の修正を事務局で取りまとめている間、5分間の休憩を取りたいと思います。

今、3時1分。3時6分まで休憩にいたします。

<休憩>

○近藤会長　それでは、採点が終わりましたようですので、議事を再開いたします。事務局から集計結果について、ご説明をお願いいたします。

○香取教育総務部長　教育総務部の香取と申します。よろしくをお願いいたします。

お配りしました集計表をご覧くださいと思います。

コングレ・東急コミュニティー共同事業体の得点でございますが、配点165点中、委員の皆様様の平均点139.6点となります。候補者が1者のため、失格でない限り、コングレ・東急コミュニティー共同事業体が第1順位の指定管理予定候補者となります。

なお、採点の結果でございますが、過半数の委員がDの評価をした項目、あるいは1人以上の委員がEの評価をした項目はございませんでした。

以上でございます。

○近藤会長　本委員会における千葉市科学館の指定管理予定候補者の選定結果は、コングレ・東急コミュニティー共同事業体を失格とはせず、集計の結果のとおり、第1順位の指定管理予定候補者として選定することといたします。よろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○近藤会長　続きまして、答申書についてですが、ただいま審議した選定結果や委員からありました意見などを答申案として事務局にまとめていただきたいと思います。

私からの提案ですけれども、今回の審議に基づく答申について事務局がまとめた答申案をお送りし、委員の皆様から個別にご意見をお聞きした上で私が承認して、本委員会の答申として決定することとしてはいかがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○近藤会長　それでは、事務局がまとめた答申案について、委員の皆様から個別にご意見をお聞きした上で、私が承認して、本委員会の答申として決定とすることといたします。

次に、その他ですが、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 近藤会長 私からの質問ですが、今後の選定結果の反映と来年度につきまして、スケジュールは概ねどのようになっているでしょうか。お願いいたします。
- 山口総務課長 それでは、今後のスケジュールにつきまして簡単にご説明をいたします。

まず、今回の選定結果につきましてですけれども、会長のご承認をいただきましたものを答申として教育委員会にいただきます。その後は市の手続に移り、選定結果を申請者に通知いたしまして協定締結に向けた協議に入ります。協議がまとまりましたら、指定管理予定候補者と仮協定を締結いたしまして、選定結果を公表いたします。

選定結果の公表につきましては11月下旬頃を予定しているところでございます。

その後、例年ですと11月の末頃に開会いたします市議会に指定管理者の指定に関する議案として提出をいたします。

市議会での議決を得られましたら、正式に指定管理者として指定いたしまして協定を締結することとなります。

今回の選定結果の反映につきましては以上でございます。

次に、来年度のスケジュールにつきましてですけれども、指定管理者の施設の管理状況を評価していただくための会議を7月頃に開催をしたいと考えております。評価の対象となる施設は千葉市生涯学習センター、千葉市科学館、千葉市公民館の3施設となります。

また、千葉市公民館につきましては、指定管理の期間が令和4年度末までとなっておりますことから、次の指定管理者の選定に係る会議を秋頃に予定しているところでございます。

来年度のスケジュール詳細につきましては、また開催時期が近くなりましたら委員の皆様にご連絡させていただければと存じます。

私からの説明は以上でございます。

- 近藤会長 今のご説明に、質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 近藤会長 皆様のご協力によりまして本日の議事を全て終了いたしました。

無事審議を終了することができ、ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

- 司会 事務局です。

今日は、会長そして委員の皆様、長い時間にわたりましてご審議ありがとうございました。

これもちまして、令和3年度第3回千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会を閉会といたします。

ありがとうございました。

問合せ先 千葉市教育委員会事務局教育総務部総務課

TEL 043(245)5903

FAX 043(245)5990